

社団法人豊明青年会議所 理事長所信

第33代 理事長 谷川 稔幸

はじめに

戦後の焼け野原になったまちを、我々の諸先輩たちは、見事に再生し復興を成功させました。それは先輩たちが未来を考えて行動した結果です。その様な時代の中でJCは誕生し、志を同じくした同志たちが集まり今日まで明るい豊かな社会の実現のため活動をし続け、物があふれ日常生活を営む私どもの暮らしは豊かになりましたが、バブル崩壊後の日本経済は長きにわたり停滞し、そしてリーマンショックと経済不況は加速しました。そしてここ近年、政治の世界でも連動するかの様な混迷が続き、約1年という短さで首相や内閣が次々と交代しそして、2009年に政権交代をした後の政策も混迷を極めている中で、追い打ちをかけるかの様な昨年(2011年)の東日本大震災と非情に厳しいときとなりました。

しかし、そんな今だからこそ戦後の荒廃した自分たちのまちを復興させた先人たちのように今、私達若者が現実を嘆くことなく明るい未来への確かな1歩を踏み出していく必要があります。それは些細なことかもしれませんが。しかし歩みを止めたとき10年後・20年後さらにはその先の時代はどんなまちに成っているのでしょうか。自分達の子供やその孫たちが暮すまちは、豊かで明るい社会になっているのでしょうか。私達は未来を考え行動に移さなければ明るい未来は無いのかもしれませんが。今こそ若い我々Jayceeが地域のリーダーとして活動をしていく必要があります。JCには他の団体とは違い全国各地に存在し強力なネットワークがあり、色々なまちづくりの経験をしています。統一の活動理念のもとJCは活動をし、学び実践していく団体です。私達の暮すまちの未来を見据えた行動こそが明るい豊かな社会の実現に向けた確かな1歩であると考えます。三信条である「修練・奉仕・友情」の元、我々もこんな時代だからこそリーダーシップを発揮し戦後からの復興を成し遂げた先輩諸兄のようにJayceeとして活動をして行かなければなりません。

〈会員拡大〉一人ひとりが自覚を持った行動で

2012年度は会員数28人でのスタートとなり、そして本年度は6人そして2013年度は7人が卒業しこのまま新入会員が入らなければ約半数のメンバーが卒業していきま

す。この危機的な状況をどのように回避していくかで会員メンバー皆の力が試されます。誰かがやればいいという考えを捨て、自分がやらなければ誰がやるのかを考え拡大の意

義・目的・必要性を今一度メンバー一丸となり今後の社団法人豊明青年会議所を考え、全力で会員拡大に取り組まなければなりません。今後の青年会議所を支えていくメンバーは自分たちであるという思いを、今一度奮起し拡大を成功させなければなりません。拡大は年間を通して取り組んでいく最大の事業であることを念頭に置き拡大し続けることが重要です。自分たちで今一度、今後の社団法人豊明青年会議所の未来を考え行動に移してください。一人が一人を入会させることを目標に事業を組み立てていただきたいです。今、やらなければ何も変わりません、全員が拡大メンバーであるという事が必要です。拡大を成功させるため皆の意識を1つにし、現状を自覚し全員が責任を持った行動をして、今後の事業につなげてください。

〈まちづくり〉 OMOIYARI のあるまちづくり

今、我々 J C が地域のために何が出来、今後の明るい豊かな社会の一助となるためにどのような活動を求められているのかをメンバー一丸となり考え行動に移し今後の事業展開をしていかなければなりません。

先のリーマンショック・東日本大震災や世界経済の低迷また、政治不信による国への不信感など、私たちの暮らすまちは、刻一刻と時代の波に飲み込まれています。今こそ私たち若い力が、まちを元気にする起爆剤になる必要があると考えます。活気に溢れたまちには必然と人が集まりさらに良くしようと色々なアイデアがあふれ出てくると確信します。一人で考えるより色々な意見を多くの人と共感・共有することにより、様々な困難から抜け出す糸口が見えてくるものです。

今回の震災で日本人特有の OMOIYARI の文化が各国で賞賛されました。自分のことよりも他人のことを思いやる心、日本人としての誇りや文化を今の子供たちと共に学び伝え、私達でまちの未来について考え行動に移し明るい豊かな社会の実現にむけ確実な前進を次世代の子ども達と共に進むことが今後のまちには必要不可欠だと考えます。次世代の子ども達が安心して安全な OMOIYARI のあふれるまちにしていくのは私たちだという思いが大切なのです。親から子へと世代を超えたまちの構築こそ次の時代へ、バトンを渡すことが我々の使命だと行動に移す必要があると考えます。

すべては次の世代の為、我々は活動をして行かなければなりません。まちの主役は市民です。市民の声を聴くことなくまちの未来はあり得ません。自分たちのまちの為に今何が必要でどんな未来を描いているのかを考える必要があります。

決して後退することのない明るい未来の為に、今、確実な歩みをして行きましょう。

今後の 10 年・20 年と明るい豊かなまちを創っていくのは私たちだという思いを繋げていく為に、J C として何が出来、何を伝えて行くのかを、今一度考えようでは有りませんか。誰もが安心して暮らしやすい社会の実現に向け市民・行政と共に手を取り 10 年後・

20年後さらにその先のまちを考えてみましょう。

〈会員資質〉魅力ある人財の育成

近年、青年会議所を取り巻く環境も大きく変化し、会員の減少や役員の担い手不足などの問題があります。原因として社会情勢の低迷などが要因の一つだとは思いますが、それだけでは無いと感じます。メンバーとしての誇りや使命感が薄れているのも原因だと思います。誰かがやるからいいという考えではいずれ青年会議所は必要なくなってしまうと感じます。今まで先輩諸兄が築き上げてきた社団法人豊明青年会議所の絆や誇りを我々は受け継いでいるという事をメンバー一丸となり継承し、今起きている事から目を背けるのではなく前に進むためにはメンバーとしての意識の改革が必要不可欠だと思います。

青年会議所は共に切磋琢磨しお互いの潜在意識や地域のリーダーとして成長していく団体です。人は、変わろうとしなければ何も変わりません。良き先輩として入会年度の浅いメンバーの見本となる先輩になって頂きたいです。

私ども青年会議所が法人として活動して行く為にはメンバー一人ひとりが強い意識を持ち、社団法人を有する団体の一員として常に意識し行動を共にしていないといけません。私たちは青年会議所メンバーである前に青年経済人です、自分たちの置かれている環境や立場に臨機応変に対応し、青年経済人として誇りを持ち責任ある行動をしていく事が重要なのです。今一度、自身を見直しメンバー間で互いに切磋琢磨し志を高め、魅力ある人財となるのが今の青年会議所には必要だと思います。魅力ある人財とは人それぞれにとらえ方や考え方が違うと思いますが、常に自分の意識を高め、行動に移せる人だと私は思います。「誰かがやるからいいや」・「自分ひとりぐらいやらなくてもいい」という考えをしない、「自分がやらなければ誰がやる」という思いが必要だと考えます。

人にはそれぞれ自分の考えがあります。決して良い所だけではありませんが、自分にはたりない物を吸収し補えることが出来る人間関係こそ真の絆であると思います。

事業を通じて互いのことを理解し、絆を深め青年会議所の一員である誇りを胸に活動をしていただきたいです。不可能なことを可能に変えていく事が出来るのは自分次第です、共に切磋琢磨した仲間がいれば不可能なことは何もないと思います。

〈総務広報〉見える組織の構築

「孫子曰く、衆を闘わしむること寡^かを闘わしむるが如くするには形名是なり。」
大軍を動かす時に、小部隊を動かすように自在に動かそうと思えば、旗や幟を立てたり
鉦や太鼓を叩くなど、情報共有や情報伝達が必要である
～孫子～

組織の運営は情報共有と情報伝達が必要不可欠である

組織運営で最も重要なことは、見える組織として迅速な報告やメンバーとの連絡調整などが必要だと思います。情報は今いるメンバーだけでなくこの先のメンバーにもわかるものでなければ意味がありません。どの様なことをどんな風に行ったかを次の世代にも残していかなければいけません。

現在は、様々なものがインターネット等で入手可能な時代になりました。そのようなツールを青年会議所でも活用して行かなければならないと感じます。またポケット手帳・対外紙とインターネット以外の情報伝達等も使い色々な方にメンバーの紹介や活動の報告をし、見える組織として活動をしていただきたいと考えます。青年会議所活動の記録や事業の案内・報告を徹底しメンバー以外の方たちにも何をしているのか・何をしたのかを広く発信することにより青年会議所の行動や魅力を市民の皆様や企業の方たちに発信していく事が今後の活動に繋がると考えます。

そして組織の見える化を図るうえで重要なのは結果の見える化ではなくプロセスの見える化を図らなければならぬと思います。成功するまでに何をしたのか、また、どの様にして成果が出たのかをしっかりと検証し残していかなければならぬと思います。そうする事により色々な反省点などの申し送りをスムーズに行い今後の事業に役立つ礎と成っていくものと確信いたします。様々なツールを使い後世まで残る組織となるためにも、記録や事業の検証を徹底し、今後、青年会議所が過去の事業を振り返り、参考として使うことが出来る資料を残していく事が、さらに進化させ時代のニーズに沿った運動を展開する為に、必要不可欠なのです。

むすびに

皆さんは目的をもってJ Cに入会したと思います。入会当時の思いとは変わってしまったのかもしれませんが、今を全力で取り組んでみませんか。すぐには、答えが出ないと思いますが色々な経験をしたことにより必ず結果に表れると思います。そこには大切な仲間たちがいます。悩み苦しんだ時にそばにいるのは仲間です。新しい自分を見つけるためにはまず自分から変わっていかなければ何も生まれてこないと思います。

様々な事業を通して自己意識の改革をし、修練の中から生まれる友情を作ってみましょう。

そして本年度は、法人制度改革に伴い、我々社団法人豊明青年会議所も例外ではなく、2013年度完全移行までに完了しなければなりません。本年度中に届を出し完了して行かないと、2013年度以降も社団法人として活動していく事が出来なくなり、今後の活動に大きく左右される重要な手続きであり、今後の青年会議所運動を行う上で、本年度必

ず完了して行かなければならない事です。手続きを無事に完了し社団法人豊明青年会議所として2013年度以降へつなげていきたいと思ひます。

私自身、最終年度にも関わらず第33代理事長という大役をさせていただき事に感謝しまた、その重責に大変身の引き締まる思ひです。社団法人豊明青年会議所に入会し11年の年月が過ぎJ.Cで学ばしていただいた恩返しとして、全力で魅力あふれる仲間と、共に学び・共に楽しみ最後の年を全うしたいと思ひます。先輩諸兄並びに関係各所団体の皆様には色々ご迷惑やご協力を御願ひすると共にご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

基本方針

- ・メンバー一丸全力の会員拡大
- ・OMO I Y A R I あふれる次世代のまちづくり
- ・強い志を持った人財の育成
- ・スムーズなLOM運営の構築・活用

2012年度スローガン

自覚・責任・行動

～今、立ち上がれ志を持つ同志たちよ～